

## 若き友へ

2011年11月

経済学部教授 高島 均

### 所感 11-3 グアテマラ通信その3-原罪に関する一考察-

#### 日本人とグアテマラ人に共通する嫌な性格

日本人の性格の中で、本当に嫌な点、それは他人に対して極めて冷たいということである。擦れ違ったときに睨みつけるような目をしてソッポを向くアジア人は、決まって日本人である。教会に行っても、見知らぬ人に笑顔一つ見せない。アメリカ人ならば、目が合えば、必ず笑顔で挨拶をしてくる。なるべく、人と関わりあわないようにしているのではないかと思わせるような行動を日本人はとる。この性格は、グアテマラ人にも共通している。ウラル＝アルタイ語族の血を引く人々、生まれたときに蒙古班を持つ人々に共通の性格。何億年も前に、アジア東北部を出発して、陸地伝いにアメリカ大陸に移り住んだ人々の子孫が、その後の気候や環境の変化によって、住んでいる土地やその後の社会構造の歴史が大きく異なっても同じ欠点を共有する。先祖が持っていた欠点が、何億年も経った子孫が住んでいる環境の違いや社会構造や歴史の違いにも拘らず、に引き継がれていっている。原罪とは、このようなのだろう。尤も、多くの非ラテン系のヨーロッパ人も同様であるが。

2011年11月

#### ミサに行くということ

人は、何を求めてミサに行くのか？ 神に会うために行く人、親しい人に会うために行く人。神は、どこに居るのか？ 神は、人々の交わりの中に居る。「あなたたちが、私の名の下に二人して集うとき、私はそこに居る。」人々の交わりの中に、神はいる。人との交わり無くして、ただ、ミサが立てられている場所に身を置き、平和の挨拶のときだけ、申し訳に「キリストの平安」と、隣の人に声を掛ける『信徒』。ルーティーンワーク化したミサを、ただこなしていくだけで、ミサに集まってきている人々に声一つ掛けようとしなない、ただ、事務的な事柄を処理するためだけに教会役員と一言二言話をする『神父』。ただ、ミサに来ているだけのシスターたち。そんなところに、温かい人と人との交わりはない。人と人との交わりがない以上、神は、そこに居ない。神は、三位一体の神である。父と子の間に流れる愛情＝聖霊がなければ、それは神ではない。神に似せて作られた人間も、三位一体の被造物である。自分と他人との間に流れる愛情、それが無ければ神に似た被造物ではない。

2011年11月

